



成果指標				
成果指標	各勤務評定記録の合計点数／人数×10項目×4点×100			
指標設定の考え方	年1回、各校長監理のもと作成される勤務評定(10項目・各4点満点)について、ALT全員が全項目満点となることを目標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%	100%	100%	0
実績	92.8%	94.5%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	小学校においては、初歩的な国際交流学習を通じ国際理解教育の推進が図れた。中学校においては、指導計画に基づき英語教育の補助者として生徒の語学力向上に寄与した。また、児童・生徒と授業時間以外でも積極的に交流し、双方がお互いの異文化についてより良く認識を図れた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	小学校における「英語教育」の更なる拡充の予定を踏まえて、ALTの増員も視野にいれて検討が必要である。「英語指導助手」としての高い資質をもつ職員を確保するため、今後も「自治体国際化協会」の斡旋による手法を継続すべきと考える。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題